

Kumamoto Gakuen University Library Bulletin

O a k s



Contents

- 1 館長エッセイ
- 2 特集「大学図書館とSNS」
- 5 News News
- 7 Information
- 9 Library Data



今年の8月18日から連続4回、朝日新聞に「教養なんていらないの?」という特集記事があった。様々な人々にインタビューを行い、「教養とは何か」を読者に問いかける記事である。ネットで教育事業に参入しようとしている川上量生氏はIT教育の必要性を唱え、教養とは、「ある時代や集団内でコミュニケーションをするのに最低限度必要だとされている知識。レベルの高い議論をするのに必要な共通言語」と考えている。この特集記事のちょうどーケ月前の朝日新聞の「教育」には、企業再生会社「経営共創基盤」CEOの富山和彦氏は、「実学的な基礎技能こそが教養中の教養」として、現在の多くの大学における文系教員を中心とした「教養教育」不要論を唱えている。

今、大学における教養教育が問われている。みなさんは「教養とは何か」 と問われたらどう答えますか。折しも、来年の3月13日(日)東京理科大学 において日本国際教養学会(JAILA)で「『理系』の『教養』とは」というシ ンポジウムが行われる。この学会の会員ではないが、シンポジウムの講師を 依頼された。

これからの教養と

「教養」とは、文字通り「教え育てる」ことであるが、何を教え、何を育てるのかによって意見が分かれてくる。 私は「教養」を「教」と「養」に分けて考えている。「教」とは、授業や読書などのような外界からの刺激によって「教え込まれる」知識や技能。一方、「養」とは外界の刺激を内面において主体的に養い育て熟成させること。大学

での講義や読書やIT教育は「教」にあたり、留学やインターンシップや様々な体験活動は「養」にあたる。ほとんどの教養教育は外界からの刺激である「教」に重点があり、「養」の内面的な熟成が十分ではないと思っている。

これまでの図書館の役割は、主に本を媒体とした「教」に貢献するものだった。しかし、本館において数年前から始まった、ラーニング・コモンズという「語らいの空間」や学生コンシェルジュのような活動は、「養」の内面的な熟成に貢献する活動である。学生が授業や読書やメディアを通して身につけた知識や情報を熟成させ、適切な判断力を涵養するために、意見の交換の場所としての図書館の役割があるように思える。その点では、国内の大学図書館としてはかなり早い段階で本館が導入したSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)もこれからの図書館の役割に新たな一面を加えることになるかもしれない。



堀 正広

外国語学部教授、図書館長。博士(文学)。 英語コーパス学会会長。 著書 / Investigating Dickens Style: A Collocational Analysis. (Palgrave Macmillan, 2004, 英語 コーパス学会賞)、『英語コロケーション研究人門』(研究社、2009年)、『例題で学ぶ英語コロケーション研究人門、任意、 社、2011年)、Kaneko Tohta, Selected Haiku With Essays and Commentary Part I: 1937-1960, (共訳)(Red Moon, USA, 2012)な



Oaksとは…

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では、「大江 青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹回り4~5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks (Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System) と命名しました。





特集

大学図書館



SNSとは?

《social networking service》の略語。 個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネット ワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービ スのこと。 趣味、 職業、 居住地域などを同じくする個人同士の コミュニティーを容易に構築できる場を提供している。 ソーシャ ルネットワーキングサービス、ソーシャルネットワーキングサイト。

ソーシャルネットワークサービス。 代表的なものに、Twitter・Facebook・ LINE・Mixiなどがある。

social networking service

本学図書館では、2013年度から、広報および学生との 双方向コミュニケーションを強化するため、公式SNSと して「Facebook」と「Twitter」を運用しています。 今回の特集では、その導入から現在までの活動をまとめ、 まだ公式SNSを利用していない皆さんにもその概要と 利便性をお伝えします。

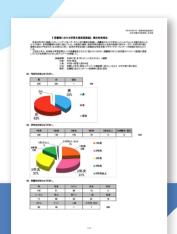




学図書館とSNS

「熊本学園大学付属図書館ソーシャル ネットワークサービス運用方針」策定

http://www.lib.kumagaku.ac.jp/control/wp-content/themes/library_new/pdf/sns.pdf



2012

- 図書館利用に関する 学生アンケート実施
- ■スマホ普及率・ SNS利用率の高さに注目



2012



●運用準備スタート 職員が外部研修会に参加

第21回「大学図書館公式Facebookをやってみた(ら?)」 http://www.daitoken.com/research/doc.html



熊本学園大学付属図書館公式SNS運用スタート



http://www.facebook.com/348580568568707



「Twitter」は本学図書館キャラクターの『ひのとくん』が、 お知らせ等をゆるく更新

https://twitter.com/hinoto_kgulib

「Facebook」は毎日更新



SNS活用のススメ



長期貸出や災害時臨時休館など、図書館からのお知らせをいち早く チェックしたいなら、Twitterがおすすめです。

新着図書・期間限定展示コーナーの紹介もあります。 スタディルームの特別開放や冷房開始など、ホームページには 載らないこともお知らせしています。



Facebookは、職員からの情報発信だけではありません。 図書館の学生アルバイトや、頼れる学生コンシェルジュの 先輩も記事を執筆します。

写真には、図書館利用者である学生の皆さんにも、 多数登場してもらっています。図書館イベントに参加すれば、 あなたも掲載されるかも!?

学生コンシェルジュ 長野 実里(外国語学部4年)



学生コンシェルジュ!

公式SNSの おすすめポイントは?

のホームページを見に行ったり しなくても、「図書館で今は何を やっているか」という情報が入っ





● 「Facebook」 100いいね!達成!

記念して、図書館SNS利用者への キャンペーンを実施



2014 7月 おいいね! <400 ■「Facebook」 400いいね!達成!



2014

2015





●熊本学園大学公式SNS開設 「熊本学園大学 SNSポリシー」 「熊本学園大学 SNS公式アカウント 運用に関するガイドライン」策定 本学図書館公式SNSもこれに準拠した運用となる

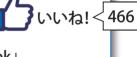
●学内の各SNS担当者とのミーティング

http://www.kumagaku.ac.jp/daigaku/kouhou/sns/index











■「Facebook」 現在、466いいね!

年度内の500いいね! 達成が目標!

あなたからの いいね!」と 「フォロー」待って!



運用準備からの3年間をふりかえって

3年前、私個人としては、公式SNS開設にあまり乗り気ではありませんでした。ちょうどその頃、企業や個人がSNS 上で「炎上事件」を起こすことが世間的に話題になっていた上、学内で公式にSNSを運用している部署も無かった ことが理由でした。しかし、当時導入を提案していた係長が「例えば、炎上するくらい図書館に注目を集められるなら、 それも一つの成功」と言い切ったのを聞いて、考えが少し変わったのを、良く覚えています。

2013年4月に大学広報のテストケースとして図書館公式SNSが始まり、試行錯誤をくりかえした導入期、毎日必ず 1本は記事をアップするという連続更新を行った成長期を経て、今年で3年目です。何度かメインの担当者が代わり、 SNSが図書館利用者にも定着したサービスとなり、大学の公式SNSも開設されたことを受けて、今年度からは週1 本前後で図書館のことをお伝えする更新ペースに落ち着きました。

意外だったのは、大学の外からの反響が大きかったことです。出張先や研修会で、「SNS見ています」と声を掛け られることが何度もありましたし、SNSを使った図書館広報についての寄稿依頼を受ける機会もありました。公式 SNS開設は、大学図書館としてはそれくらい注目度が高い先進的な取り組みだったのだな、と改めて感じています。

職員/廣松亜矢子

- ■熊本学園大学図書館報 大楠 52号
- ■大学の図書館 No.490(第33巻9号) P.177-180
- ■ジャパン ナレッジ Lib

各種イベント開催!

"学生とつくる大学図書館"をコンセプトに掲げ、学生・教員・図書館の3者が協働で企画・運営しました。近年の図書館界の主流 となるアクティブ・ラーニングを意識し、イベント後は参加者同士によるディスカッションを取り入れ、関連資料の展示や映画上映会 を開催しました。また、熊本学園大学フェミニズム研究会による試写会も地下AVホールで上映され、参加者が200名を超える大 イベントとなりました。映像を通して女たちの生きた戦後史を知る機会となったようです。図書館では授業や地域との連携促進、学 習機会の提供と課題解決の支援、多様な情報源の入り口(ポータルサイト)を今後も目指していきます。

平成26年 10月2日(木) 図書館で映画 "ボルベール 〈帰郷〉"

10月8日(水) 日経NEEDS-Financial QUESTデータベース講習会

10月20日(月) eol(企業情報データベース)講習会

12月9日(火) ジャパンナレッジ他データベース講習会

12月15日(月) 熊本日日新聞記事データベース講習会

12月20日(土) 図書館で映画 "ブタがいた教室ー命を考える"

平成27年 5月23日(土) 「何を恐れる」熊本試写会

6月24日(水) Westlaw Japanデータベース講習会

7月1日(水)~9月17日(木) NHK 大河ドラマ『花燃ゆ』吉田松陰ゆかりの熊本の人々一資料展示一

7月8日(水) KISSデータベース講習会

7月9日(木) 日経テレコン21 データベース講習会

7月10日(金) "オーサービジット" 『就活のバカヤロー』 著者と平瀬氏の対談





講師との座談会







上映会を通して「命」「食育」を考える



イベント用ポスター

オープンキャンパスで 大学生気分に

7月26日、8月11日にオープンキャンパスが開催されま した。図書館に入ると「涼しい」の声が。両日とも暑い日 でした。もちろん涼をとるだけではなく、本を手に取ったり、 OPACで検索してみたり、展示物を見たり、DVDを見た りなど、少しの間大学生気分を味わってもらいました。来 館者数は両日で602名、次はぜひ本学の学生として利 用していただきたいものですね。



ステップアップガイダンス

ステップアップガイダンスは 23回実施(247名参加)

例年、新入生ガイダンスと同時期に、より発展したレベルでの図書館利用を目的とした「ステップアップ・ガイダンス」を実施しています。対象は1~4年生と大学院生。1月に実施した『図書館における学習支援実態調査』の集計結果をふまえ、学生のニーズや授業との連携を目指しました。対象者が3年生の場合は就職関連の資料収集を、留学やインターンシップを考えている学生には幅広い情報源を提供するなど、図書館機能の充実度をアピールしました。また、リーガルエコノミクス学科向けに法律・判例文献情報の探し方も取り入れました。情報リテラシーは、ゼミ発表、レポート、卒業論文作成そして社会に出てからも必要不可欠です。これらが大学生活で十分身につくよう図書館ではサポート体制を整えています。

熊本国府高等学校 インターンシップ

毎年恒例となっている、熊本国府高等学校インターンシップ、今年は7月8~10日までの3日間で実施されました。1冊の本がフロアに並び、求める人の手に渡るまでを、とても熱心に体験していただきました。図書館の業務を学ぶことによって、整理力、企画力、文章力、コミュニケーション力などいろいろな力が身につきます。短い期間でしたが、必ず将来の役に立つと思います。がんばってください。





5

新入生ガイダンス

「新入生ガイダンスに82ゼミ1,131名が参加」

新入生ガイダンスは、学生に大学図書館の機能とサービスの理解、今後4年間の学習活動に図書館を有効利用してもらうための基礎的な支援として昭和60年から実施しています。今年も全学部の基礎ゼミ・基礎授業を対象とした「新入生ガイダンス」を実施しました。

全体プレゼンテーションでは、ラーニング・コモンズフロア やAVコーナーなど、図書館の"場"や"空間"を紹介し、「サ ービス」と「知/繋がりの拠点」に重点を置きました。

『霊界からの恋文』と称した問題(QRコードのクイズ形式)を読み解き、恋文(全容)を明らかにするスタイルを提示しました。古い書簡を並べ、墓や卒塔婆で幽霊が出そうな雰囲気を演出し、郷土の著名人をクイズの題材にするなど、ゲーム感覚を取り入れ、学生が楽しめる参加・体験型ガイダンスを目指しました。

ガイダンスを通じて図書館の施設とサービス、図書館員による支援の存在を知ることにより、図書館を利用しようという意識が芽生えたようです。データベースや新聞記事を活用した資料収集、レポート作成やゼミ発表など、より自主的な学びへと繋がっていくことが今後も期待されます。



『霊界からの恋文』に用いた冊子



地下書庫内の様子



各フロアに設置されたQRコードを読み取り、恋文を完成



6

図書館に中学生司書? 帯山中ナイストライ

図書館で体操服姿の中学生を見かけた人もいらっしゃると思います。9月8~10日の3日間、熊本市立帯山中学校の2年生6名が、本学図書館で職業体験学習を行いました。中学生にとっての大学図書館はとても大きく仕事も複雑に感じたことでしょう。最初は緊張していたようですが、みなさん熱心に取り組んでいただき、ようやく慣れてきたかなというところで終了。短い間でしたが、働くという感覚を覚えておいてくれたらいいですね。



7

図書館における学習支援実態調査

図書館における学習支援実態調査を行い、結果を図書館ホームページにて公開しました。

実施期間:平成27年1月7日(水)~1月21日(水)2週間

対象:学生、院生

回答人数:548名

http://www.lib.kumagaku.ac.jp/control/wp-content/uploads/2015/03/anke.pdf

00

平成26年度 学生懸賞論文審査結果

平成26年度の学生懸賞論文には昨年(30篇)を大幅に上回る41篇の応募がありました。今回も例年どおり10月から12月にかけて一次審査、二次審査が厳正に行われ、その結果、特選に該当する論文はみられず、入選4篇、佳作7篇という厳しい審査結果となりました。 なお表彰式は1月21日(水)15時から図書館地下1階AVホールで行われ、堀館長から講評が述べられたあと一人ひとりに懸賞金が

授与されました。表彰のあとに入選者のスピーチと、参加者全員での写真 撮影も行われました。式に参加した同じゼミの友人たちと一緒に写真に納 まる光景も見られ、終始和やかな雰囲気のうちに終了することができました。

今回の入選論文は、「平成26年度学生懸賞論文集」として発行され、 図書館内で配布されています。今後も皆さんのたくさんの応募を期待した いと思います。選考結果は次のとおりです。



特選

該当者なし

入選(4篇)

- ●和田 馨 (商学科4年) 国産車と外国産車の日本国内における最近の販売戦略のマーケティングについて ートヨタと BMW の事例比較による差異性と共通性ー
- ●藤田 皆人(経営学科4年) 日本における子どもの貧困の考察 -「子どもの貧困対策法」は処方箋となるか-
- ●宮島 千佳(経済学科4年) 定年延長政策の生涯所得への影響について -需要独占モデルの場合-
- ●栗林 香織 (英米学科3年) Researching the Factors of Difficulty through an Examination of the Macmillan Readers

佳作(7篇)

- ●田中 晃子(商学科4年) ブランド〜欲望の物語化〜
- ●冨田 庸介(リーガルエコノミクス学科2年) 会社制度における資本金の必要性 −東京相和銀行不正増資事件をもとにー 〈共同執筆他8名〉
- ●大漉 健志 (社会福祉学科4年) ワーキングプア/生命の危機を越えて −12人のインタビューからー 〈共同執筆他12名〉
- ●西 彩加(社会福祉学科4年) 障がい者就労支援に関する考察
- ●日隈 美菜(第二部社会福祉学科4年) 高齢者の介護問題に対する課題
- ●吉川あゆみ(福祉環境学科4年) 対人援助職に関するユング心理学による考察
- ●蔵野 裕紀(ライフ・ウェルネス学科3年) 運動行動への計画的行動理論の適用 −世代間における理論の検証−

第3回 学生懸賞論文説明会

平成27年7月8日(水)、本年度の「学生懸賞論文」に応募を考えている 人を対象とした説明会が図書館ラーニング・コモンズで開催され、23名の 学生が参加しました。

当日は堀正広館長の挨拶のあと、昨年度の審査委員および専門審査 委員から、様々な視点での説明がありました。商学部の出家健治先生から は「論文作成において考慮すること」として、論文の書き方にについて注 意するポイントの解説、経済学部の村松茂美先生は「論文のひとつの書き 方」について話をしました。また、社会福祉学部の守弘仁志先生は「論文 をどのように構成するか |と題して、論文としてのまとめ方・書き方について 述べました。

最後に図書館から参加者全員に「学生懸賞論文募集要項」を配布し、

募集方法について説明し ました。3回目の学生懸賞 論文説明会は盛会のうち に終了しました。終了後、先 生方に質問する光景も見 られ、実りある説明会にな ったと思います。





「オーちゃん」

平成7年4月に現在の 図書館が開館して、今 年で20年。現図書館は、 それ以前の図書館(2 号館)の狭隘化改善な どを目的に、熊本学園 創立50周年記念事業 の一環として建設され たものです。

今から10年前、平成 17年発行の「大楠」37

号には、特集『新図書館開館10周年を迎えて』が 掲載されています。この特集では、開館に携わった 教職員の回顧録や建設中の図書館の写真など、 現図書館の歴史を知ることができます。

「大楠」のバックナンバーは、ホームページ上で公 開しています。ぜひご覧ください。

http://www.lib.kumagaku.ac.ip/oaks

[図書館からのお知らせ]

就活生向けデータベース講習会

平成27年度秋学期も、利用教育普及の一環として各種データベース講習会を 開催します。対象は学生・院生・教職員です。就職活動や企業研究、日々の学習 に役立つ活用方法を紹介します。

10**5**® 日経テレコン21

11**19**® 就活力アップ講座(1回目)

ジャパンナレッジLib/日経テレコン21 毎策/CiNii Articles

11**18**® eol (企業情報データベース)

* 就活力アップ講座(2回目)

Library Lovers'キャンペーン2015

Library Lovers' は九州地区の大学図書館・高専図書館が合同で開 催する、読書週間イベントです。「図書館を好きになってもらいたい」「図 書館を、様々な本や知識、そして人との出会いの場にしたい」というコン セプトで開催されます。

当館では、合同企画 "ブックレシピ" に参加するほか、映画上映会など のイベントを予定しています。

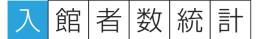
日程: 平成27年10月20日(火)~11月16日(月)



Library Data

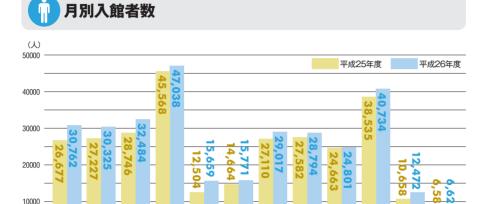
入館者数·貸出冊数統計

平成26年度 利用統計



入館者数、過去5年で最高に!!

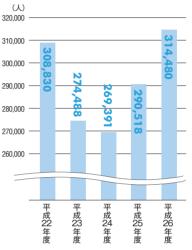
3



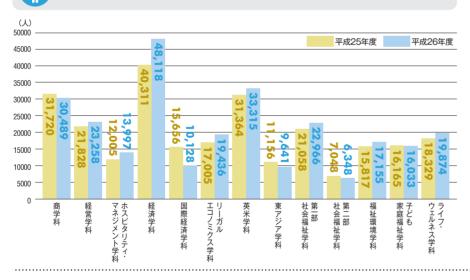
10

11

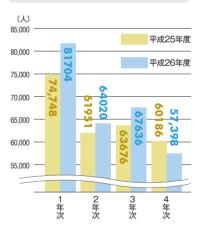




学科別入館者数



学年別入館者数



受入統計

平成26年度

	洋書	和書	合計冊数
購入	1,382	8,550	9,932
寄贈	38	334	372
学内科研費	0	20	20
合計	1,420	8,904	10,324

リラーニング・コモンズ利用統計

12

月

平成26年度

内容	利用回数
授業等	244
講座·講習会等	62
学生企画	32
図書館企画	24
その他	12
合計	374

※ラーニング・コモンズは自 由利用で届け出の必要は ない。そのため、この統計 は席確保のために事前に 予約された催事のみの回 数で作成している。

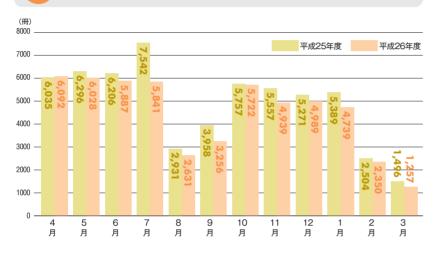
ILL依頼·受付件数

平成26年度

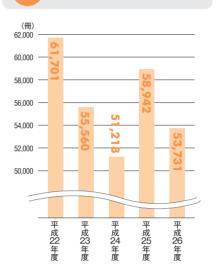
		件数
依頼	複写	628
	貸借	407
受付	複写	1,073
	貸借	264

貸出冊数統計

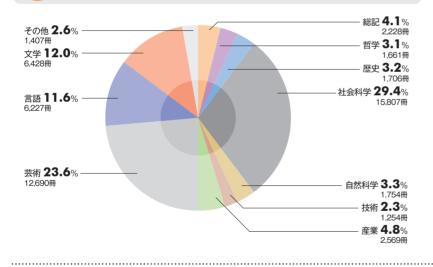
以月別貸出冊数



貸出冊数(過去5年間比較)



分野別貸出比率



学部別一人あたりの貸出冊数



W AVコーナー利用状況

	人数
平成22年度	18,388
平成23年度	14,917
平成24年度	14,845
平成25年度	16,910
平成26年度	14,986

ジデータベース利用統計

平成26年度(件数)		
システム	2014年度 件数	
日経テレコン21	178,685	
eol	6,435	
MAGAGINEPLUS	1,214	
CiNii機関定額制	25,454	
LEX/DB	1,638	
EBSCOhost	2,462	

統計考察

Statistical Consideration

入館者数の伸びに反して、貸出冊数は減少しました。"滞在型"図書館としての利用が定着し、本を借りて持ち帰る必要性が低くなった結果か、単なる本離れなのか、今後も検証が必要です。



LIBRARY

図書館日誌

2014年10月~2015年9月まで

図書館行事

10月6日~10月15日●学生懸賞論文受付

10月11日●オープンキャンパス 図書館開放

10月12日 ● 休館(体育の日 通常授業に伴う開館)

10月25日~10月31日 ● 図書館実習

10月20日~11月16日 ● Library Lovers' 2014開催

11月3日 ● 休館(文化の日)

11月16日●休館(推薦入試)

11月19日●図書館委員会

11月23日●休館(勤労感謝の日)

12月10日 ● 図書館委員会

12月21日 ● 休館(推薦入試)

12月23日 ● 休館 (天皇誕生日)

12月26日~1月4日●休館(年末年始休業)

1月12日 ● 休館(成人の日)

1月17日~1月18日●休館(大学入試センター試験)

1月21日●学生懸賞論文表彰式

1月21日●図書館委員会

2月2日~3月24日 ● 春休み長期貸出

2月6日~2月9日●休館(一般入試)

2月11日●休館(建国記念の日)

2月17日 ● 図書館委員会

3月8日●休館(一般入試)

3月19日 ● 図書館委員会

3月21日 ● 休館(春分の日)

3月24日 ● 学位記授与式

3月31日●休館(年度末処理)

4月3日 ● 入学式

4月15日~6月10日 ● 新入生ガイダンス

4月29日 ● 休館(昭和の日)

5月3日~5月6日 ● 休館 (憲法記念日、みどりの日、こどもの日、振替休日)

5月27日 ● 図書館委員会

5月30日●休館(創立記念日)

6月7日 ● 大学懇談会(熊本地区) 保護者へ図書館開放

7月8日~7月10日 ● 熊本国府高校インターンシップ

7月8日●学生懸賞論文説明会

7月19日 ● 休館 (海の日 通常授業に伴う開館)

7月26日●オープンキャンパス 図書館開放

8月3日~9月9日●夏期休業期間の長期貸出

8月11日●オープンキャンパス 図書館開放

8月12日~8月20日 ● 休館(夏期一斉休業)

9月14日●休館(職員研修会)

9月8日~9月10日 ● 帯山中学校ナイストライ

9月21日 ● 休館(敬老の日)

9月22日 ● 休館(国民の休日)

9月23日 ● 休館(秋分の日)

見学者・団体

10月8日●熊本商業高等学校(80名)

10月9日 ● 大牟田北高等学校PTA (20名)

10月22日 ● 熊本国府高等学校(140名)

10月23日 ● 熊本聾学校(15名)

10月24日 ● 龍谷高等学校(82名)

11月11日 ● 鹿南中学校(21名) 11月13日 ● 慶誠高等学校(72名)

11月28日 ● 都城東高等学校PTA (11名)

12月16日●能本信愛女学院高等学校(110名)

2月24日 ● 菊池高等学校(48名)

2月24日 ● 高森高等学校(13名)

3月6日●菊池農業高等学校(41名)

3月17日●熊本中央高等学校(42名)

3月17日 ● 菊池高等学校(49名)

6月11日●宮崎県立飯野高等学校(72名)

6月30日●八代東高等学校PTA(12名)

7月9日 ● 南稜高等学校(**13名**)

7月14日●熊本聾学校(19名)

7月15日●熊本商業高等学校(134名)

7月24日 ● 都城西高等学校PTA (13名)

7月30日 ● 出水商業高等学校PTA(23名)

8月6日 ● 国分中央高等学校PTA(16名)

8月8日 ● 大分東高等学校(14名)

8月8日●安心院高等学校(27名)

編集後記

「図書館は成長する有機体である」という言葉があります。

SNSでの情報発信は勿論、ラーニング・コモンズフロアも、昔の大学図書館では考えられなかったものです。しかし、学園大図書館では、20年前の現図書館棟建設当時から、現代のアクティブ・ラーニングに通ずる先進的な展望をもって、グループ学習室やスタディルームなどを設置しました。先人に負けることなく、これからも利用者の皆さんと、図書館を成長させて行きたいと思います。(A·H)

熊本学園大学 図書館報



第5年10年10年10年10年10年11日

編集·発行/熊本学園大学付属図書館 〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号 TEL(096)371-8047(直通) FAX(096)362-5967 http://www.lib.kumagaku.ac.jp/

携帯電話から本学図書館の蔵書検索ができます。



機種によっては、 正しく表示されない場合が ありますのでご了承ください。